

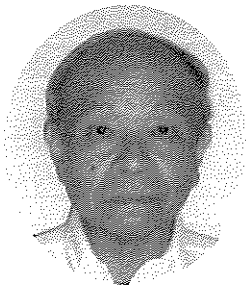
阿賀浦コミ協だより

平成25年7月25日

広報第14号

阿賀浦コミュニティ協議会

阿賀浦地区の地域づくりを目指して



阿賀浦コミュニティ協議会

副会長 比企政巳

今後、阿賀浦地区の地域づくりを考えた時、現在地区の動脈は国道460号線バイパスと磐越道であり、そこに拠点となるインターチェンジがあります。

他の地区では開発が進む中、先般、何十年越しでようやく当地区の目玉ともいう下越病院が誘致・完成されたことにより多くの人が地区を行き交うようになり、今までと違ったおもむきを感じられ活気もでてきました。しかしながら地区の人口が徐々に減り続ける中で、現状維持さえできない危機感を抱きます。このままだと地区にある学校が廃校の憂き目にあうことも否定できません。そして、地区としての存在感も薄れてしまう、まさに地域の存亡にかかっているのです。

そこで、当地区の将来像を考えた時、まず交通アクセスが求められることです。それは既に法線としてある通称岡田、中新田線市道の早期の実現であり、これを行政に強く要望したいと思っています。

次に地区の人口増をいかに進めるかの態勢づくりです。それには宅地開発が不可欠であり、同時に店舗誘致も積極的に進めていく必要があります。他の地区へ日常の買い物に出掛けて行くようでは決して住みよい地区とは言えません。それも人口減少の要因になっています。最近では当地にあった唯一の店が諸般の事情で店じまいをされたため、今まで利用されてきた方のぼやきが聞こえてきます。

そこで我が地区の前記二つの課題をどう展開するかであります。そこにはどうしても農地利用が関わってきます。新潟市の都市計画によると阿賀浦地区は新金沢町と新津東町は市街化区域であり、一方中新田、大安寺、東金沢は市街化調整区域になっています。国道460号線沿線はいまだ見直しもなく農業振興地域の農用地とされたままで原則転用は認められない農地となっています。このような所は地域要望として具体化した土地利用計画に基づき地域づくりの一步として考えていかなければならないと思います。

さて、新潟市の地域づくりの考え方、地域住民に委ねていることです。今後地区の皆さんより地域づくりの意識を高めて頂き地区の「声」を市へ反映できればと思っています。そうでないと行政は動きません。今こそ愛する我が地区のため皆さんの英知をご期待し、住みよい地区づくりが実現できますよう願っています。今後共何分のご協力の程よろしくお願い申し上げます。

平成25年度の行事を紹介します。各大会その都度ご案内いたしますので、多くの参加を期待しております。

行 事	実 施 時 期	開 催 場 所
第7回ゲートボール大会	6月2日(日)終了 優勝 東金沢	七日町ゲートボール場
第4回盆踊り大会	8月10日(土)	新津地域学園テニスコート脇駐車場 雨天の場合 同体育館
第7回ソフトボール大会	9月29日(日) 予備日10月6日(日)	第五中学校グラウンド 予備日の会場 は阿賀小学校グラウンド
ソフトバレーボール大会	9月(阿賀浦スポーツ振興会主催)	
凧づくり体験と凧あげ	9月29日(日)	阿賀小学校体育館及びグラウンド
第4回芸能祭	10月20日(日)	五中体育館
史 跡 巡 り	10月27日(日)	次項史跡巡り情報参照
ドッチ・ビー大会	11月17日(日)	阿賀小体育館
第4回 フロア・カーリング大会	11月17日(日)	新津B&G海洋センター
阿賀浦ファイブ 健康づくり事業 ① ロコモ体操 ② ラジオ体操100日運動	毎月第一火曜日 10:00~12:00 継続実施中 100日実施⇒「100日運動認定証」 授与⇒100日を10回⇒1000日	地域学園体育館 各家庭及び各種行事開催中
阿賀浦コミ協だよりの発行	7月・1月の年2回発行	

「盆踊り大会」の開催について

第4回目盆踊り大会を阿賀浦コミ協、阿賀浦社会福祉協議会共催により下記のとおり開催します。特別賞、団体賞(4名以上)、仮装賞あり、また全員に参加賞の用意あり。ビール、ジュース、焼き鳥、かき氷などの屋台村も出店。奮ってご参加願います。楽しい夏のひとときをお楽しみください。



記

- 日 時 平成25年8月10日(土曜日) 午後6時から8時30分
- 場 所 新津地域学園テニスコート脇駐車場 雨天の場合 同体育館

* この催しは、新潟市地域活動補助金の支援を受けて開催。
* 駐車場が少ないです。徒歩でお越しいただくか、乗り合わせての来場をお願いします。

平成25年度 史跡めぐりについて

会津戊辰戦争の跡をめぐる

岡 三 郎

いま、NHK大河ドラマでは「八重の桜」が絶好調と伝えられる。

徳川幕府二百五十年余の歴史の終焉を告げようとする維新を描いているドラマである。そのドラマに乗っかたわけでもないが、昨年、一昨年と続いた「戊辰戦争」の跡をめぐる史跡めぐり終年にふさわしく、会津地方の戊辰の役を辿ってみたいと思いついた。

会津地方（松平家）の最後は、徳川一門であるということもあろうが、東北地方の純朴さをそのままに、融通の効かない態を上下一致した姿で示したといえるのではあるまいか。

そして、今ではそうした苦しみの中から立ち上がり、むしろその苦しみを餌のように手玉に取って現代を生き抜いている姿を、福島県人のみなさんの中に垣間見る思いさえ抱かせられるのである。

ことし廻ってみたい会津藩の「最後と決戦の場所」を想定したい地として次に掲げてみた。

○中野竹子殉節の碑と「法界寺」

弘化四年(1847年)、江戸で生まれる（父が江戸語であった）。幼少より文武に秀でていた。慶応四年、風雲急を告げる会津に入り一時会津坂下の玉木家に身を寄せる。「八重の桜」でも時折見せる^{なごなた}雑刀の名手で、戦中には「娘子郡」の中核として奮戦、涙橋のたもとで西軍の銃弾に倒れる。竹子二十二歳の青春であった。



中野竹子殉節の碑

○戸ノ口原と滝沢口決戦場跡

慶応四年八月二十三日、松平容保以下の会津軍は二本松からの官軍を防ぐべく宿陣していた。ところが西軍は、主力三千人の大軍を石籠口から母成峠に向かわせて奇襲をかけ、二十二日に猪苗代の亀ヶ城を陥し入れ戸ノ口原に宿陣、二十三日早朝には滝沢口が敗れるに至る。藩主も仕方なく帰城。この戦いで城外の会津軍は事実上敗退したといえる。

○伴百悦事件と束松峠

会津戦争の後遺症ともいわれる束松事件は、新政府の役人の横暴に対して藩士の怒りが爆発して、この地で帰郷の役人を斬殺。その足で大安寺の坂口津右衛門を頼ったという事件の場である。この事件は勝者と敗者の宿命的な事件ともいえるもので、伴百悦は探索の結果、大安寺の慶雲庵で討たれている。



御薬園

○松平氏の庭園「御薬園」

芦名時代に作られたといわれ、歴代藩主の別荘として使われた。松平家二代藩主正経の頃に、庭の一部を薬草園にしたところから名がつけられた。会津戦争の折には西軍の負傷者の治療所に当てられたといわれ、心字池の中島にある茶室には、「刀傷跡」が残っている。

○近藤勇の墓と天寧寺

新選組隊長として名高い近藤勇は、甲斐国勝沼の戦いに敗れ、後捕われて斬首。さらし首は何者かに盗まれたが、この墓は土方歳三によって建てられたと伝えられる。



近藤勇の墓

○河井継之助終焉の地と八十里峠

慶応四年五月二日、長岡藩の河井継之助は、「小千谷会談」に向かった。相手は、新政府軍軍監岩村精一郎であった。会談は、岩村の傲慢な態度で決裂、五月十日榎峠で戦闘は始まった。十九日、信濃川を強行突破した新政府軍の手により一回目の落城、以後一進一退の戦いが続く。七月二十四日、継之助は藩の全兵力七百人をもって「死ねや、死ねや」の掛け声で城を奪還した。この戦闘で継之助は左足に銃弾を受け戦線を離脱する止むなきに至った。この間に長岡城は再度の落城をした。

重傷を負った継之助は担架に乗せられ、八十里峠を越えて会津をめざしたが、八月十六日、会津領只見村塩沢で四十二歳の生涯を閉じた。

下田村から険所八十里峠を担架で越えた継之助の心中は如何ばかりか、いま終焉の地には資料館が残っている。

—特集— 『新津鉄道資料館活性化計画』

新潟市では、新津地域学園に整備されている鉄道資料館の充実化を図ることを目的として、新津鉄道資料館活性化計画を樹立、先般、市から同資料館活性化計画の説明がありました。

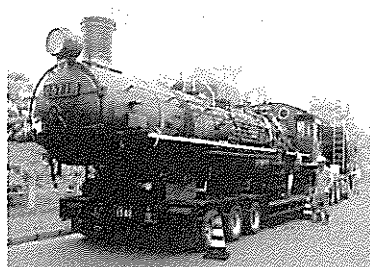
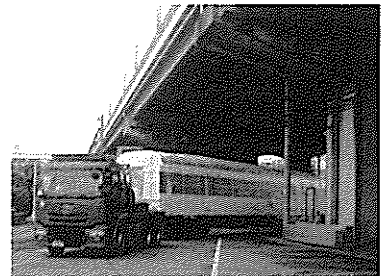
阿賀浦地区に整備される施設のことから、みなさんにその概要をお知らせいたします。

〈屋外展示〉

JRより寄贈を受けた「200系新幹線」そして、鳥屋野交通公園に展示されていた「SLC57 19号機」が新たに整備配置されます。

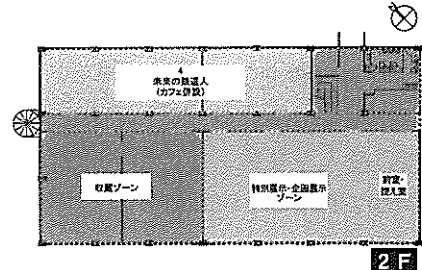
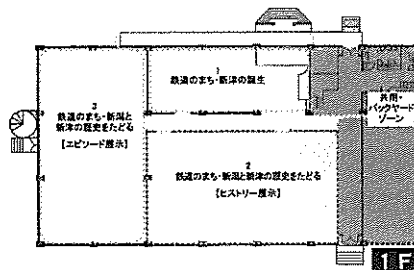
先般、搬送作業が行われ、現在、屋根工事が進められています。6月22日、23日には特別公開イベントが開催されましたが、多くの鉄道ファンの来場があり盛況でした。

活性化計画事業工程表によればリニューアル展示業務等は、26年前期完成で、その後全館共用されるということです。全館オープン後の多くの来場者を期待したいものですし、地区として誘客に協力出来たらよいのではないかと思います。



〈展示の構成〉

- 常設展示 鉄道のまち 新潟・新津の歴史をたどるをテーマとして鉄道の町新津の誕生から時代とともに移りゆく鉄道技術の発展と新潟・新津のまちの様子を鉄道に関する資料や写真により紹介。
- 企画展示 テーマを設け、自主企画のほか、地域の団体や市民などで協働で展開。
- 特別展示 テーマを設け、他館との連携により、年に1～2回、大規模に展開。



〈新津駅中サテライトの整備〉

○新津駅を起点とし、新津鉄道資料館へ来訪者を誘導するための導入拠点として新津駅中サテライトが整備されました、「鉄道のまち新津」のアピールが進むものと思います。

編集後記

阿賀浦地区は、小学校、中学校は、そして高校の設置とまさに文教地区といってもよい環境にあります。また、弓道場、テニスコートなどスポーツ環境も充実しています。

そして、ここに新津鉄道資料館のリニューアル、観光地としての一面も併せ持つ地区になりました。

また、下越病院の竣工、開業により、安全、安心の地区へとの変化もみせ、活気あふれる地区への変貌も見せてまいりました。しかしながら、活気は喜ばしいことではありますが、従前にまして交通量の増にもつながるところかと思えます。子供たちの通学途中並びに日常生活の中に事故が多くなつてはいけません。事故の起きないような社会整備をより進めていく必要があるのではないかと思います。変貌をとげつつあるこの地区の、よりよい環境整備のために地域の声(要望)をお聞かせいただければと思いますし、みなさんと、より活気ある地区に出来ればと思えます。

広報部一同